

# 公益社団法人滋賀県社会福祉士会

## 2018年度 事業報告

### 1 総括

滋賀県社会福祉士会は設立後26年を超え、27年目に入っております。また、日本社会福祉士の連合体組織（社会福祉士個人の会員組織から47都道府県社会福祉士会の会員組織）への移行に伴い、各県士会に、権限の移譲や主体の形成が行われて7年が経過し、それに伴い、滋賀県社会福祉士会が公益社団法人に移行し6年が経過しました。

こうした流れは、分権型社会への対応の観点からも必然的なものではありませんが、パラダイム転換には大きなエネルギーを必要とします。今後も、日本社会福祉士会と都道府県社会福祉士会の関係のあり方など論議の最中であり、まだまだ道半ばといったところです。

本会の会務内容を以前と比較してみましても、所掌事項は、量的・質的に増加・高度化し、会務環境は大きく様変わりしました。主なものとしましては、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの実施、成年後見関係事件の受任案件の増加と「直接（申出）受任」検討や、ぱあとなあ滋賀事務手数料徴収など運営体制の見直し、公的機関等からの委託事業等への多様な取組み、多職種・多機関とのネットワーク化、事務局体制強化などがあげられます。その分、本会の社会的認知度や期待が大幅に高まってきたと言えるでしょう。

今年度は、「第2期将来構想5か年計画（中期経営戦略6本柱）」の4年目として、ソーシャルワーク実践に寄与できる座標軸を身につけながら、諸課題の解決に向けて取り組んできました。今後ますます、社会の期待に応えるためには更なる発展に向けてのチャレンジや適切なマネジメント、そして、社会福祉士の業務独占に向けたアクションが必要です。

さて、以下のとおり、2018年4月1日から2019年3月31日までの本会のこの1年間の運営ならびに事業の実施状況を総括し報告します。

先ず事務局体制ですが、常勤の事務局長を中心に、日本社会福祉士会をはじめ近畿ブロック、関連機関との連携等積極的に進めてきました。会員管理の県福祉士会への移管の準備も進んでいます。一方、諸規定の整備はまだまだ十分ではありませんが、今後随時進めていきます。

次に、事業面ですが主なところは以下の通りです。

#### ○ぱあとなあ滋賀による成年後見活動の推進

認知症高齢者等の大幅な増加、成年後見制度の普及等とともに、成年後見人の需要は近年ますます高まってきています。滋賀県（大津家裁）では平成30年は429件と昨年（492件）より減少したものの、全国では36,127件と前年（35,737件）より22.3%の増加となっています。

昨年、国は親族後見の意義を改めて訴えましたが、変わらず、第三者後見人の選択も増加しております。特に専門職後見人の中でも、身上監護が得意な社会福祉士の伸び率が高い傾向が続いています。

こうしたニーズに応えるべく、ぱあとなあ滋賀運営体制の見直し検討を進めてまいりました。

一つは事務量の増加や後見人の質の担保のための研修などに対応するための手数料の徴収についてです。2018年3月の臨時総会にて採択され、ばあとなあ会員さんのご理解を得て2018年度より徴収を開始しております。もう一つは「直接（申出）受任」についてです。虐待案件など、成年後見制度の早急な活用が必要な場合や、他に適切な受任候補者がいない場合に限り、申立段階から第三者受任候補者名を挙げて対応するやり方です。検討を重ねたうえで、2018年度より本格実施しております。また今年度も「県民のための成年後見制度活用セミナー」を開催しました。

ばあとなあ滋賀会員数、受任件数は以下の通りです。

区分	ばあとなあ会員数	受任件数
2016年2月報告	78名	258件
2017年2月報告	141名	306件
2018年2月報告	134名	389件
2019年2月報告	134名	426件
前年比	増減なし	37件増

#### ○無戸籍者支援への取り組み

無戸籍者を支援するため、2016年10月7日から、滋賀県は都道府県で初めてとなる専用相談窓口を本会に設置しました。これまで案件ごとに縦割りだった無戸籍者からの相談を一括して受け入れることで、きめ細かい対応を行うものです。

市町との連携のもと、専用の電話番号を設け、毎金曜日に、無戸籍者の生活に関する様々な相談に応じる体制を整えています。該当数は少なく、しかも埋もれていて発見され難く支援に繋がらないという課題はありますが、その中で相談件数や、就籍への実績を積み上げてきています。

#### ○滋賀県との共催、養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現任者標準研修の実施

地域包括支援センターで高齢者虐待対応を担当する初任者職員および市町職員を対象に、「養介護施設従事者等による高齢者虐待」に対する対応の標準化を目指し滋賀県との共催にて研修会を開催しました。今年度は3日間を「養護者による高齢者虐待対応現任研修」と「養介護施設従事者による高齢者虐待対応研修」に分けて行いました。

#### ○「子ども家庭福祉に関わる社会福祉士の連携を継続できる基盤づくり事業」の実施

子どもの権利擁護と地域における子ども家庭支援を担う社会福祉士としての力量を高めるために、会員相互のネットワークを構築し、情報交換、相互支援、研鑽等を行うとともに、子ども家庭福祉の推進に向けて活動を行いました。

#### ○事業所等相談アドバイス事業の実施

今年度からの新事業で本格開始が遅れていましたが、地域からの相談受付が7件となり、検討委員会も4件について開催しました。支援者へアドバイスするだけでは収まらず、当事者への働きかけのニーズが高いことが判明しました。

#### ○収益事業「社会福祉サービスに関する第三者評価事業」

2005年度から認知症高齢者グループホームの外部評価機関として滋賀県の認証を受け調査・公表を実施してきました。また2017年12月に滋賀県第三者評価機関の認証を取得し、第三者評価機関・調査員の資質向上に向けた取り組みや事業所へのPR活動を行ってきました。

次に、会計面では、会費収入が主財源ですので厳しさは変わりませんが、滋賀県や県社協からの委託事業等による特定財源の確保が会務の充実・推進につながることができました。

また、会費収入に関連して、会員数はここ数年増加傾向にあり、520名を超えるところまで増えてきました。

最後に来年度は役員改選により新体制となります。これまで会員の皆様のご協力を得て何とか無事、現役員体制での2年間を終えることができそうです。今後とも本会が一層、会員の皆様に親しまれ、一人ひとりの会員の拠り所となれるよう、各種事業やブロック活動の推進、事務局便り、広報紙”は一と・めーる”の発行等を通じて会員相互の顔の見える関係づくりを一層進めるとともに、新規入会者も積極的に募り、楽しく会員が一丸となれることを願います。

公益社団法人、職能団体として、県民の皆様からの信頼に応えられるような本会活動に向けて会員の皆様の本会活動への一層のご参画と、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

## 2 事業報告

### 【公益事業】

#### 1. 社会福祉の援助を必要とする滋賀県民への生活と権利擁護に関する事業

##### (1) 成年後見制度の普及活動と後見受任者の質の向上への取り組み

県下の権利擁護ニーズに応えるため、また、会員の権利擁護対応の質の担保及び向上のため、下記の内容にて「権利擁護センターぱあとなあ滋賀」（以下「ぱあとなあ滋賀」という）の活動の充実・強化を図りました。その他、日本社会福祉士会が実施した都道府県ぱあとなあ連絡協議会に2名を派遣し、各都道府県のぱあとなあの情報交換、全国的な後見実務の情報交換を行いました。

##### ①ぱあとなあ滋賀（部会活動）の充実・強化

###### ア. 後見活動の実施

2018年度下半期時点（2月報告時点）でぱあとなあ滋賀会員134名、後見265件、保佐120件、補助36件、任意後見5件、監督0件、あわせて426件を受任（昨年度同時点で389件）。

後見人が一人で全責任を負うこととなる後見活動の内容をぱあとなあ活動報告書チェックにて確認するとともに、下記定例会において後見実務の質問や情報交換を行うことができる場を確保し、必要に応じ質問、情報交換を行っています。

一昨年度、養成研修を実施した関係で、ぱあとなあ滋賀会員数が大幅に増加したことから、地区毎に顔合わせの機会（ブロック別例会）を設け、少しでも顔の見える関係を構築し、定例会への参加呼びかけや、会員間の情報交換、支援の体制が取れるよう努めました。

###### イ. 定例会の開催 毎月第2土曜日に実施

定例会においては、（あ）受任推薦についての透明性の確保…家庭裁判所からの推薦案件についての情報共有、（い）ぱあとなあ滋賀会員のフォロー…後見実務の質問や情報交換、（う）実務的な内容の研修による会員の後見活動の質の向上を主な内容としています。今年度においては、下記のとおり内容にて毎月概ね1時間程度の研修を実施しました。

- 5月 事例検討会（青谷会員）
- 7月 成年後見と倫理綱領（高田会員）
- 8月 成年後見人等の就任直後の業務について（坂口理事）
- 9月 ブロック別交流会
- 10月 確定申告について知っておくこと（税理士 丹野亮氏）
- 12月 相続について（伏木会員）
- 1月 未成年後見人養成研修報告（大原会員）
- 3月 意思決定支援セミナー研修報告（磯崎会員）

#### ウ. 運営委員会の開催と体制整備

2018年度からは、地区担当運営委員及び数名の権利擁護担当理事が参画し、毎月定例会前に運営委員会を開催しました。運営委員会では、ばあとなあ滋賀の組織運営に関わる決定事項を検討しました。また、ばあとなあ会員の後見活動に関し、福祉関係機関その他の機関からの苦情等がある場合等にその対応について協議を行いました。さらに、そのようなばあとなあ会員の後見活動について、必要な場合は運営委員複数で当該会員の面談を実施し、課題の洗い出し、意見聴取、対応協議等を組織的対応の中で実施しました。昨年度臨時総会にて可決承認されました事務手数料につきましては、12月に口座振替にて徴収いたしました。

運営委員長(担当理事)村田 才司

##### <地区担当運営委員>

湖東北地区	澤 和子、山内 克仁
湖南地区	中尾 葉子、長橋 満見子
大津・高島地区	町野 ひろ子、吉原 正栄
東近江地区	中嶋 久仁子、平良 久美
甲賀地区	木下 道生、木村 真由子、島田 一子

#### エ. 関係機関との連携、何でも相談会への相談員派遣

家庭裁判所との連携を密にし、他機関や県民からの成年後見制度に関する相談や依頼に対応するための体制を整備しました。

また、県内福祉圏域のほぼ全てで、高齢者や障害者を対象とし、様々な士業や専門職が集まり相談に応じる総合相談が実施されるようになったことで、社会福祉士にも福祉や成年後見、権利擁護に関する専門職として相談員派遣要請がなされています。地域のニーズに応えること及び相談対応を行った会員の質の向上並びに他専門職とのネットワークの構築を目的として、定例会にて人員を広く募り、積極的に会員派遣を行いました。

#### オ. 部会活動の充実

##### 1. 研修部会

ばあとなあ滋賀会員が社会福祉士としてその倫理綱領、行動規範を基に成年後見活動が行なわれるよう研鑽を深め、知識と技術の習得を重ねられるよう、年度を通して研修の場を企画しています。また名簿登録に関して更新研修の義務化に向け、準備を進めています。

##### <研修企画会議>

- ・月1回行われている例会後、部会員で研修の企画運営打ち合わせ。
- ・必須である更新研修の打合せ。(ばあとなあ滋賀年間研修計画の策定)

##### <例会後のスキルアップ研修>

##### <名簿登録更新研修に代わる研修>

※2019年度後半で企画予定

## 2. 法人後見部会

これまでより法人後見については検討を行ってきましたが、今年度よりぱあとなあ規程に基づき部会としての検討を始めました。

法人後見事業に向けて、法人後見事業を実施している法人等の状況を把握しながら一定の方向性をまとめ、体制整備を進めます。

### <部会の開催>

2018年9月27日(木)  
2018年10月17日(水)  
2018年11月29日(木)  
2018年12月20日(木)  
2019年1月16日(水)  
2019年2月13日(水)  
2019年3月20日(水)

## ②県民のための成年後見制度活用セミナーの開催

2018年11月17日(土)、市民学習交流センターサンヒルズ甲西にて上記セミナーを実施しました。企画運営については、甲賀圏域のぱあとなあ滋賀会員が中心となり行いました。

基調講演「権利擁護の理念と成年後見制度利用促進法」

～意思決定支援と地域連携ネットワークの推進にむけて～

講師 日本福祉大学社会福祉学部教授 平野 隆之 氏

シンポジウム「地域生活を支える成年後見制度を目指して、わたしたちはどうする？」

コーディネーター 日本福祉大学社会福祉学部教授 平野 隆之 氏

シンポジスト 権利擁護センターぱあとなあ滋賀 島田 一子 氏

NPO法人甲賀・湖南成年後見センターぱんじー

桐高 とよみ 氏

湖南市健康福祉部長

芦田 伝男 氏

参加者76名

## (2) 高齢者・障害者虐待対応支援ネットによる専門職チームの活動

### ①専門職チームの概要

2009年より滋賀弁護士会とともに「滋賀県高齢者虐待対応支援ネット」を設置し、地域包括支援センターでの困難事例への相談対応や、虐待対応ケース会議での相談対応など高齢者に対する権利擁護事業に対して支援を行ってきました。

2012年10月施行された障害者虐待防止法に対応するため、「滋賀県高齢者・障害者虐待対応支援ネット」として改め、専門職チームとしての専門性の研鑽をはじめ、県や市町に対して支援ネットを活用した権利擁護体制整備の必要性の広報、研修会等へのアドバイザーの派遣など、支援体制の強化等に取り組んでいます。

### ②活動実績

2か月に1回、専門職チームに所属している弁護士及び社会福祉士が、専門職チーム運営上の課題について協議等を行っています。今期は5月9日(水)、7月11日(水)、9月12日(水)、11月14日(水)、1月9日(水)、3月13日(水)に実施しました。研修会については9月7日(金)近畿弁護士大会へシンポジストを派遣しました。

今後、行政は勿論、県民や各種団体・機関においても、権利擁護に関する体制強化や意識高揚のニーズが一層高まることが予測されます。このことから、権利擁護に関する情報の収集・発信、未契約市町への広報活動の強化の必要があり、各市町へ対し要望書を作成し、次年度発送する予定です。また今後一層、専門職チームとしての体制強化と資質の向上に努める必要があります。

＜契約先市町の状況＞

2018年度契約市町（10市2町）

・高齢者・障害者の契約市町

高島市、愛荘町、守山市、栗東市、湖南市 草津市、甲良町、甲賀市、近江八幡市  
野洲市、米原市

・高齢者のみ 長浜市

＜ケース会議等への派遣回数＞

・長浜市4回、米原市2回、高島市15回、愛荘町4回、近江八幡市11回、野洲市3回、守山市3回、栗東市1回、湖南市0回、草津市17回、甲賀市3回、甲良町0回

**（3）地域包括支援センターの機能強化に向けた支援**

**①養護者による高齢者虐待、及び養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現任者研修**

高齢者虐待防止法に基づき、養護者による高齢者虐待、及び養介護施設従事者等による高齢者虐待対応にあたる市町村や地域包括支援センター等の担当者が、対応にあたる上での法的根拠、専門的視点、技術等を習得し、実践力の向上を図ることを目的として開催しました。

今年度は従来の3日間通しの研修ではなく、前半2日間を「養護者による高齢者虐待対応現任者研修」、3日目を「養介護施設従事者等による高齢者虐待対応研修」として開催しました。

各市町における虐待対応機関、協力機関等の現任者が、虐待対応にあたる上でより実践的な対応を学ぶことを目的に、滋賀県との共催により実施しました。

日時：1日目～2日目 「養護者による高齢者虐待対応現任者研修」

2018年 6月 14日（木）9:30～17:00

2018年 6月 20日（水）9:30～17:00

3日目 「養介護施設従事者等による高齢者虐待対応研修」

2018年 6月 26日（火）9:30～17:00

場所：1日目 大津合同庁舎7C 会議室（滋賀県大津市松本1-2-1）

2日目 大津合同庁舎7B 会議室

3日目 大津合同庁舎7C 会議室受講者：17名

講師：土居 正志 氏（日本社会福祉士会権利擁護事業委員）、宮原 務 弁護士  
竹下 育男 弁護士、西川 孝史 氏（高島市地域包括支援課）、桐高会員  
中原会員、足立会員、村田会員

**（4）子ども家庭福祉に関わる社会福祉士の連携を継続できる基盤づくり**

子どもの権利擁護と地域における子ども家庭支援を担う社会福祉士としての力量を高めるために、会員相互のネットワークを構築し、情報交換、相互支援、研鑽等を行なうとともに、子ども家庭福祉の推進に向けた活動を行ないました。

**①子ども家庭支援委員会コア会議**

1. 2018年5月11日（金）委員会運営打ち合わせ（大津市）  
2018年度の活動について確認

**②子ども家庭福祉・スクールソーシャルワーク研究会の開催**

1. 権利擁護委員会子ども家庭支援委員会合同研修会

『社会福祉士が虐待にどう関わるか？』

開催日：2018年9月29日（土）

会 場：浜大津明日都ふれあいプラザ大会議室

内 容：第1部 研修

高齢者虐待 障害者虐待 児童虐待についてそれぞれの立場から法制度と課題。

報告者 中原 一隆 氏（大津市権利擁護センター所長 本会会員） 高齢者虐待

中川 英男 氏（滋賀県社会福祉士会会長） 障害者虐待

上村 文子 氏（滋賀県教育委員会SSW 本会会員） 児童虐待

コーディネーター

野田 正人 氏（立命館大学教授 本会会員）

第2部 質疑応答 社会福祉士がどう関わるかについて

第3部 懇親会

## （5）無戸籍の人への相談窓口設置の実施

### ①電話相談窓口の開設

毎週金曜日に滋賀県長寿社会福祉センター内で相談窓口を設置し、無戸籍者の抱える生活上の深刻な課題解決を図りました。

開設日：延べ50日（10時～15時）

電話相談：2件

訪問面談：2件

### ②連絡協議会開催（大津地方法務局、滋賀弁護士会、滋賀医師会等関係団体・機関）

2018年7月23日（月）

### ③市町担当者に対する研修会実施

日時：2019年2月28日（木）

会場：男女共同参画センター（Gネットしが）研修室

内容：研修「300日問題について」

講師：藤田 祐介 氏（弁護士）

事例検討「無戸籍者支援相談の現状と課題～相談事例を通して」

助言者：藤田 祐介 氏（弁護士）

中前 ひろみ 氏（大津法務局戸籍課長）

### ④検討会議の開催

2018年6月29日（金）

2018年12月21日（金）

## （6）事業所等相談アドバイス事業の実施

①相談受付 7件

②検討委員会 4件

③当事者支援 3件

④研修会 2回

1. 「非行・犯罪行為のある障害者を支援し続ける人のための基礎研修会」

開催日：2018年8月3日（金）

場所：ピアザ淡海

講師：山口県立大学 水藤 昌彦 教授

2. 「性暴力被害のある知的障害者の立ち直りのために・・・」

開催日：2018年9月17日（月・祝）

場所：明日都ふれあいプラザ

講師：大阪人間科学大学 山崎 康一郎 准教授

## （7）災害支援事業

平成30年7月豪雨災害及び平成30年北海道胆振東部地震への支援事業として、2016年度に採納しました県民よりの遺贈による寄付金を日本社会福祉士会・日本赤十字社を通じて寄付いたしました。

## 2. 社会福祉の知識の普及・啓発・調査研究、社会福祉士の職務に関する知識・技術の向上、倫理及び資質の向上、養成支援等

### (1) 社会福祉および社会福祉士に関する調査研究

#### ア 制度政策委員会

滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会（事務局：県社協）に委員として中川会長が参画し、滋賀県に対する社会福祉施策・制度に関する要望を行いました。

#### ①滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会への参画

[第1回]

開催日：2018年6月8日（月）  
会場：県立長寿社会福祉センター

#### ②滋賀県健康医療福祉部長への要望

開催日：2018年9月6日（木）  
会場：県危機管理センター  
出席：中川会長

#### ③県議会各会派への要望

[自由民主党]

開催日：2018年7月6日（金）  
会場：県庁2階 議員室  
※本会は欠席

[チームしが]

開催日：2018年11月26日（月）  
会場：県庁2階 議員室  
出席：中川会長

#### <要望事項>

重度障害者に対応可能なグループホームの整備

### (2) 社会福祉士の養成支援

#### ア 社会福祉士養成支援委員会

専門知識を有した社会福祉士を養成することを目的とします。

社会福祉士国家試験を受験する人に対し、計画的な学習支援を行いました。また、社会福祉士の養成に必要な現場実習が実りの多いものとなるよう、実習指導者の養成を行いました。

質の高い社会福祉士が社会で活躍することを通じ、公益に資するように活動しました。

#### ①全国統一模擬試験の実施

日程：2018年10月13日（土）  
受講者：32名

#### ②社会福祉士実習指導者講習会の運営

実習指導者講習会を開催。実習生受け入れのため、24名の実習指導者が新たに登録されました。

日程：2018年9月15日（土）  
9月22日（土）  
会場：草津市立 市民交流プラザ（フェリエ南草津）  
受講者：24名

#### ③社会福祉士国家試験対策講座の実施

国家試験対策講座（19科目）を7月14日（土）～11月10日（土）にかけて開催しました。21名の受講生に社会福祉士国家試験の受験をサポートしました。



日程	曜日	教室	I 10:00~11:00	II 11:10~12:10	III 13:00~14:00	IV 14:10~15:10	V 15:20~16:20	
7/14	土	長寿C 第1教室	低所得者に対する 支援と生活保護制度 大岡 紳浩	低所得者に対する 支援と生活保護制度 大岡 紳浩	現代社会と福祉 口村 淳	現代社会と福祉 口村 淳		
7/28	土	長寿C 第1研 修室	相談援助の基盤と 専門 岡本 芳也	相談援助の基盤と 専門 岡本 芳也	相談援助の 理論と方法 安田 誠人	相談援助の 理論と方法 安田 誠人		
8/25	土	長寿C 第1研 修室	福祉サービスの 組織と経営 川口 敏	保健医療サービス 藤田 知	社会保障 山崎 晴美	社会保障 山崎 晴美	障害者に対する支援と 障害者自立支援制度 山田 宗寛	
9/8	土	長寿C 第1教室	高齢者に対する支 援と介護保険制度 西田 悠	高齢者に対する支 援と介護保険制度 西田 悠	社会調査の基礎 藤田 知幸	就労支援サービス 城 貴		
9/29	土	長寿C 第1 教室	児童や家庭に対する支援 と児童・家庭福祉制度 岡本 芳也	児童や家庭に対する支援 と児童・家庭福祉制度 岡本 芳也	人体の構造と 機能および疾病 平良 久美	人体の構造と 機能および疾病 平良 久美		
10/13	土	長寿C 第1 教室	全 国 統 一 模 擬 試					
10/27	土	長寿C 第1 教室	福祉行財政と 福祉計画 澤 和清	更生保護制度 中川 英	心理学理論と 心理的支援 佐藤 順子	心理学理論と 心理的支援 佐藤 順子		
11/10	土	長寿C 第1 教室	地域福祉の 理論と方法 川口 敏	地域福祉の 理論と方法 川口 敏男	権利擁護と 成年後見制度 川口 敏男	社会理論と 社会システム 藤田 知幸		

#### ④社会福祉士養成支援委員会の開催

- 2018年4月10日（火） フェリエ南草津小会議室
- 2018年8月17日（金） フェリエ南草津小会議室
- 2018年12月10日（月） 大津市ふれあいプラザ小会議室

#### ⑤近畿ブロック担当者会議への参加

- ・ 受験対策講座：2018年5月13日（日） 大津市市民活動センター小会議室
- ・ 実習指導者講習会：2018年10月21日（日） 大阪社会福祉士会館

#### ⑥近畿ブロック大会への参加

- ・ 2019年2月9日（土） 近畿ブロック大会のプレ企画を実施

### (3) 介護・福祉なんでも電話相談事業

福祉・介護現場で働く従事者が不安や悩みを気軽に電話等で相談し、解決できるよう支援することにより、各事業所で働く職員の定着支援を図ることを目的として、「福祉・介護従事者のなんでも電話相談」を介護福祉士会と共同で次の通り実施しました。

また、電話のみでは解決に至らない場合には面接による相談も実施しました。

1. 専用電話による相談を毎週金曜日（10時～16時）に実施（火・水・木曜日は介護福祉士会）。  
相談件数 8件（うち面談による相談1件）
2. 滋賀県社会福祉協議会介護福祉人材センター/福祉研修センター主催の『福祉・介護従事者（事業所）のための「研修講師派遣」事業』に講師を派遣しました。

事業所名	テーマ	参加人数	実施日	時間
救護施設ひのたに園	社会人としてのマナーの意義と基本動作	15名	6月14日(木)	14:00～15:30
社会福祉法人パレット・ミル	倫理綱領と虐待防止に向けて具体的対応	20名	9月6日(金)	18:00～19:30
社会福祉法人湖北会ゆるり	働きやすい職場環境づくりについて考える	20名	9月28日(金)	17:15～18:45
社会福祉法人白蓮もりやま作業所	後見人制度について	12名	10月4日(木)	13:30～15:30
びわこ学園 医療福祉センター野洲	身体拘束に関する法的理解と対応事例ならびに記録の方法	30名	11月2日(金)	14:00～15:30
(株)シェアリングエイド ふれあいサポート	生活困窮者の支援について	15名	11月9日(金)	13:30～15:00
一般社団法人守山・栗東 障害者相談支援センター みらいく	介護保険と障害者支援の連携	8名	11月21日(水)	18:00～19:30
ニチイ学館 ニチイケアセンター大藪	個人情報保護	15名	1月16日(水)	10:00～11:00
小規模多機能型居宅介護 サービス ひらり	権利擁護・意思決定支援を考える	30名	2月21日(木)予定	18:30～20:00

#### (4)「滋賀の縁創実践センター」とのコラボレーションの推進

2014年9月に、民間福祉関係者が分野や立場を超えてつながり、福祉制度のはざま  
で支援が届きにくい人々の声を聴き、地域の方々とともに、社会とつながっていない人々  
の縁を紡ぎなおし、誰もが自分らしくいきいきと地域で暮らすことを支えるしくみと実践  
を県下にくまなくつくっていくことを目指し開設された「滋賀の縁創造実践センター」は  
最終年度を終え、その理念と実践は滋賀県社会福祉協議会へと継承されました。

本会は、その理念と実践に賛同し、「滋賀の縁創造実践センター」の理事として参画する  
とともに、専門職団体として積極的にコラボレーションを推進しました。

##### ①傍楽体験事業の実施

「コミュニケーションが苦手」「働くことに不安がある」など働きたいけれど不安を  
感じておられる方々が、はじめの一步を踏み出せるきっかけにつなげていくことを目的  
に、モデル事業「傍楽体験事業」を実施。

毎月第2木曜日発行の事務局通信の封入・発送作業を通じて、誰もが個性を輝かせる  
ことができる「小さな働く場」となるよう今後も継続して取り組みます。

実施回数 12回

参加人数 17名（延べ参加者37名）

## 【収益事業】

### 1. 社会福祉事業のサービス評価

#### (1) 滋賀県健康福祉サービス第三者評価事業への参画

滋賀県が2000年から取り組んでいる「滋賀県健康福祉サービス第三者評価事業」は、事業者が自らのサービスについて評価する「自己評価」、事業者でも利用者でもない第三者の評価機関が評価する「第三者評価」等があり、事業者自らの取組により、健康福祉サービスの質の向上を図るとともに、利用者によるサービス選択に資することを目的としています。

本会も2017年12月に滋賀県第三者評価機関の認証を取得し、県内の福祉サービス事業所（介護事業所・障害福祉事業所・保育園等）に対して福祉サービス第三者評価事業の広報・啓発に取り組みました。

#### (2) 認知症高齢者グループホームの外部評価の実施について（第三者評価委員会の活動の充実・強化）

本会は、2005年度から認知症高齢者グループホームの外部評価機関として滋賀県の認証を受けて調査・公表を実施してきました。2007年度からは、「地域密着型サービス」の外部評価機関として活動しています。2009年度からは、外部評価の実施回数や自己評価項目・外部評価項目等の見直しが行われ、地域密着型サービスが「介護サービス情報の公表」制度の適用対象となり、本会も必要な対応を行いました。

直近では、2012年度の診療報酬・介護報酬の同時改定により地域密着型サービスの事業所要件や報酬が見直しされたこと等があり、本会としても高所大所から再考し、調査費用の見直しや調査員の拡大などに取り組み、第三者評価事業への貢献度を一段と高めることとしました。本会が行う外部評価は、「福祉の専門職」である本会会員と、「利用者」「家族」の立場である公益社団法人認知症の人と家族の会滋賀県支部会員が連携して調査員となり利用者の方、ご家族の安心と満足、心地よさ、快適さの向上を図るため、更によりよいサービスを提供するにはどうしたらよいか、各事業者の関係者と一緒に考えることを大切にしています。

##### ① 認知症高齢者グループホームの外部評価ならびに公表

- (1) GHはるか 2018年9月14日(金)調査
- (2) GHみなくちみんなの家 2018年11月20日(火)調査
- (3) 南郷GHほたる 2018年12月5日調査(水)
- (4) やすの憩 2019年3月4日(月)調査
- (5) 檀那木 2019年3月20日(水)調査
- (6) まごころ土山 2019年3月28日(木)調査

##### ② 第三者評価機関・調査員の資質の向上にむけた取り組み

- ☆ 第三者評価委員会の開催 年6回（奇数月の第3土曜日）
- ☆ 第三者評価委員会において情報交換及び研修の実施

##### ③ 地域密着型サービス事業所へのPR活動の取り組み

- ☆ 新規事業所に対する活動  
県からの指定情報の提供を受けて、直ぐにPRチラシを郵送する。
- ☆ 新規に受託した事業所に対するPR活動  
初めて受託した事業所に対しては、事前に事業所を訪問し説明会を行っている。

#### ○ 第三者評価委員会の開催と評価件数の推移

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
開催回数	4回	0回	6回	6回	6回	6回	6回	6回	6回
件数	13件	7件	9件	11件	12件	12件	5件	10件	6件

## 【その他の事業】（相互扶助等事業）

### 1. 社会福祉士の知識・技術および倫理・資質の向上

#### （1）生涯研修センター運営委員会

社会福祉士は専門職として、政策・制度や福祉ニーズの変化に対応し、また質的にも利用者からの信頼に耐え得るソーシャルワーカーを目指して、常に自らの専門性を向上させていく必要があります。そのため、日本社会福祉士会では1999年度より生涯研修制度を開始し、2012年度より滋賀県社会福祉士会が所属する会員の社会福祉士の職務に関する知識及び技術の向上、倫理及び資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを支援するために、生涯研修の情報や機会を提供することとなりました。

生涯研修制度は基礎課程、専門課程の2つの課程からなり、基礎課程は滋賀県社会福祉士会に新しく入会した社会福祉士が必ず受講する課程となっており、本年度は基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲを実施しました。研修実施のため、運営委員会を開催し、円滑に研修を実施できるよう調整を行いました。なお、基礎研修講師および、ファシリテーターとして年間延べ講師39名、ファシリテーター44名が研修に関わりました。

なお、滋賀県として会4項目を基本的な考え方として研修を行うこととしました。

- 1 滋賀県社会福祉士会会員自身が互いに育てあう関係での研修を実施する
- 2 社会福祉のプロとして自身の振り返りの場としての研修へ参加する
- 3 社会福祉のプロとして自身の業務の発信の場（講師となって自らの業務を発信する）とする
- 4 様々な部門の者が集い、連携構築を図る場とする

#### ○生涯研修センター運営委員会（集合研修講師・研修委員会・事務局会議・近プロ大会）の開催

- 2018年4月10日（火）まちの相談室よりそい
- 4月14日（土）コミュニティセンターやす
- 5月26日（土）長寿社会福祉センター
- 6月15日（金）まちの相談室よりそい
- 6月23日（土）長寿社会福祉センター
- 10月6日（土）長寿社会福祉センター
- 11月10日（土）コミュニティセンターやす
- 12月10日（月）まちの相談室よりそい

#### （2）会員研修の実施

##### ①新規入会者及び認定社会福祉士を目指す社会福祉士に対する基礎研修Ⅰの実施

受講者数 36名

集合研修1：日時 2018年10月6日（土）

場所 長寿社会福祉センター

内容 社会福祉士の歩み・組織、生涯研修制度、社会福祉士の専門性

集合研修2：日時 2018年1月19日（土）予定

場所 長寿社会福祉センター予定

内容 社会福祉士の専門性の理解、倫理綱領・行動規範、倫理綱領の現場適用

②基礎研修Ⅱの実施 受講者数 27名

開催日	時間	科目
2018年5月26日(土)	9:30~13:00	・相談援助の視座と展開過程(オリエンテーションを含む) 講師:木村 真由子
2018年6月23日(土)	9:30~16:50	・実践のためのアプローチ 講師:上村 文子 ・自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク 講師:磯崎 圭一郎
2018年7月21日(土)	9:30~16:50	・集合研修1「実践事例演習」 講師:村長 真理
2018年8月18日(土)	9:30~16:50	・社会資源の理解と社会資源開発 講師:中原 一隆 ・連携システムのあり方とネットワークの構築 講師:望月 俊有
2018年9月15日(土)	9:30~16:50	・地域における福祉政策と福祉計画 講師:高田 佐介 ・社会福祉調査の方法と実際 講師:磯崎 圭一郎・木村 真由子
2018年10月6日(土)	9:30~16:50	・スーパービジョンとは ・スーパービジョンのモデルセッションを見る ・スーパーバイジー体験 講師:桐高 とよみ
2018年10月27日(土)	9:30~16:50	・社会福祉における法Ⅰ 講師:市川 忠稔 ・ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ 講師:竹村 直人
2018年11月17日(土)	9:30~16:50	・社会福祉における法Ⅱ 講師:坂口 航一郎 ・ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ 講師:小西 加津代
2018年12月15日(土)	9:30~16:50	・実践研究の意義と方法 講師:乾 昌典 ・実践研究のための記録 講師:大原 薫男
2019年1月19日(土)	9:30~13:00	・実践評価の方法 講師:上村 文子
2019年2月16日(土)	9:30~16:50	・実践研究発表の方法 講師:奥村 昭

③基礎研修Ⅲの実施 受講者数 10名

開催日	時間	科目
2018年5月26日(土)	9:30~16:50	・対人援助と事例研究 ・事例研究の基本枠組み 講師:磯崎 圭一郎 ・事例研究の方法としてのケースカンファレンス 講師:島田 一子
2018年6月23日(土)	9:30~16:00	・事例研究のための事例のまとめ方 講師:磯崎 圭一郎 ・実践事例研修Ⅱ 講師:尾崎 史

2018年7月21日(土)	9:30～15:30	・模擬事例検討会 講師：尾崎 史
2018年8月18日(土)	9:30～16:50	・意思決定の支援 講師：桐高 とよみ
2018年9月15日(土)	9:30～16:50	・地域における福祉活動 講師：奥村 昭
2018年10月6日(土)	9:30～16:50	・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営 福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント 講師：市川 忠稔
2018年10月27日(土)	9:30～13:00	・リスクマネジメント、苦情解決システム 講師：高田 佐介
2018年11月17日(土)	9:30～16:00	・事例研究（苦情・リスク・サービス評価） 講師：山内 克仁
2018年12月15日(土)	9:30～15:00	・スーパービジョンのモデルセッション 講師：海部 久美
2019年1月19日(土)	9:30～16:00	・新人教育プログラム 講師：松井 邦夫
2019年2月16日(土)	9:30～16:50	・地域の課題解決に向けた具体策について 講師：磯崎 圭一郎

#### ④全国研修担当者会議への参加

2018年9月22日(土)～23日(日)(東京)  
出席者 木村理事、磯崎会員

#### ⑤基礎研修講師養成研修への参加

2018年11月11日(日)(兵庫)  
出席者 磯崎会員、木村理事、桐高会員、小寺会員、島田会員

#### ⑥近畿ブロックとの調整

近畿ブロック研修委員会への参加

2018年4月15日(日) 出席者 磯崎会員、木村理事  
8月11日(土) 出席者 磯崎会員、河岸理事  
11月4日(日) 出席者 磯崎会員、横田理事  
2月10日(日) 出席者 木村理事、島田会員

#### ⑦近畿ブロック大阪大会分科会発表査読会及び審査会への参加

○査読会

2018年11月4日(日) 大阪社会福祉会館  
出席者 奥村理事  
2018年12月8日(土)  
出席者 口村会員

### (3) 高齢者生活支援委員会

高齢者福祉の向上を目的とし、様々な専門職団体と連携し、ネットワークの構築・専門職の質の向上・政策提言に取り組みました。

これらの活動を通じて、高齢者の生活を社会全体で支援できることを目標としました。

#### ①政策提言機会の提供

滋賀県のタウンミーティングの開催情報を「事務局通信」と「事務局のWeb」にて掲載し、滋賀県社会福祉士会の会員を中心に、政策提言の機会を提供しました。

#### (4) 生活困窮者支援委員会

委員会の必要性や今後の活動の参考とするための滋賀県社会福祉士会会員へのアンケート調査を実施しました。現在、アンケートの集計作業を行っています。

## 2. 社会福祉専門団体・行政・社会福祉士養成校協議会等との連携

### (1) ソーシャルワーカー団体の連携推進

#### ① 3団体との連携

公益社団法人滋賀県社会福祉士会、滋賀県医療ソーシャルワーカー協会、滋賀県精神保健福祉士のソーシャルワーカー3団体の連携を図りました。ソーシャルワーカーの質の向上を目指すとともに、ソーシャルワーカーについて社会の認知度を高める活動を行いました。

#### ② 三団体合同研修会の実施

ソーシャルワーカー3団体合同研修会の開催に向けて、ソーシャルワーカー3団体会長会議や担当者間で調整中。

開催予定日 2019年3月2日(日)  
開催場所 コラボしが21 3階大会議室  
テーマ 災害への備えと被災者支援  
講師 岡本 正 氏(弁護士)

### (2) 「ソーシャルワーカーデイ2018inしが」の開催

ソーシャルワーカーについて、社会の認知度を高めるとともに、ソーシャルワーカーの質の向上を図ることを目的として、2018年度はセミナーを開催しました。

[開催日] 2018年7月1日(日) 10:00~12:00

[会場] 草津市民交流プラザ(フェリエ南草津5階大会議室)

[内容] 「子どもの貧困とスクールソーシャルワーカー」

#### 第1部

対談「子どもの貧困とスクールソーシャルワーカー」

NPO法人こどもソーシャルワークセンター理事長 幸重 忠孝 氏

湖北子ども食堂「Liaison」主宰 北居 理恵 氏

#### 第2部

シンポジウム「現場からの報告～ソーシャルワーカー3団体～」

コーディネーター

NPO法人こどもソーシャルワークセンター理事長 幸重 忠孝 氏

シンポジスト

滋賀県医療ソーシャルワーカー協会 山脇 克哉 氏

滋賀県精神保健福祉士会 中井 皓太 氏

[参加者] 57名

[広報活動] 県内80店舗展開のスーパーや総合病院・福祉施設において、ポスターやチラシによる周知を実施。新聞社7社に告知依頼(うち4紙掲載)。

### (3) 行政・他団体・機関等との協力・連携

#### ○介護職員人材育成・確保対策連絡協議会への参画

滋賀県の介護職員の育成と確保を目的に、各種団体等により構成された協議会に参画し、滋賀県としての方向性や取り組み等の検討を行っています。今年度は、「介護職員チームリーダー養成研修」及び「しが介護人材定着等推進事業者登録制度」についての検討を行ってきました。下半期からチームリーダー養成研修と事業者登録制度ともに開始され、チームリーダー養成研修の1期生は現在、研修受講中で、事業所登録

制度は年度末において7事業所の登録となっています。

- 2018年6月22日(金) 平成30年度第1回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会
- 2018年10月10日(水) 平成30年度第2回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会
- 2019年3月18日(月) 平成30年度第3回滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会
- 2019年3月26日(火) 滋賀県介護・福祉人材センター関連予算説明会
- 2018年5月25日(金) 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会 コア会議
- 2018年9月14日(金) 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会 コア会議
- 2019年2月14日(木) 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会 コア会議
- 2019年3月25日(月) 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会 コア会議

#### ○しが介護の職場合同入職式実行委員会

介護業界のイメージアップと、滋賀県内で就職した職員の定着を目的に、介護関係職場に入職した職員の滋賀県全体での入職式を開催しています。今回で4回目の実施となりましたが、各種団体等から実行委員が選出され、より良い入職式になるように、年数回の実行委員会を開催しています。

今年度の入職式は、県知事からの祝辞・表彰、講演会に「私の体験したディズニーマジック 感動を呼ぶサービス!!」と題して、香取 貴信 氏(有限会社香取感動マネジメント 代表取締役)をお招きしました。その後、コーディネーター役の先輩職員も含めて、交流会を開催しました。次年度から滋賀県から滋賀県社会福祉協議会へ実施主体が移ることとなり、様々な協議の結果、次年度も多団体等との実行委員形式での協議を続けていくこととなっています。

- 2018年4月17日(火) 第3回しが介護の職場合同入職式実行委員会
- 2018年5月17日(木) しが介護の職場合同入職式(びわこホテル)
- 2018年6月28日(木) 第4回しが介護の職場合同入職式実行委員会
- 2019年2月25日(月) 2019年度しが介護の職場合同入職式実行委員会

#### ○災害時における福祉的支援検討会への参画

大規模災害発生時及び平時の取り組みについて、福祉的な見地からの支援について検討しています。発足当初はDCA Tの編成に向けてを目標としていましたが、コーディネーターとしてF E E L D oの桑原 英文さんに来ていただいたことにより、具体的な取り組みの検討へと変化していきました。まずは、平時に確認しておけることとして、「誰もが安心して利用できるための避難所チェック13項目」を作成し、各避難所等への案内を実施しました。

今年度、最終の会議では、発足当初の目標であったDCA Tのような災害支援チームの編成に向けてを主な議題として話し合いを行いました。

- 2018年7月26日(木) 災害時における福祉的支援ネットワーク会議
- 2019年2月 1日(金) 災害時要配慮者支援ネットワーク会議
- 2019年3月29日(金) 災害時における福祉的支援ネットワーク WG会議

### 3. 広報委員会の運営

「みんなで笑顔になる仕事」というキャッチフレーズのもと以下の事業を計画しました。

#### ①広報紙(はーと・めーる)の発行

発行に向け、生涯研修委員会主催の研修及び本会主催事業へ参加し取材を行いました。湖南ブロック研修の機会をもって広報委員会を開催し、はーと・めーるの編集を行いました。あり方や紙面刷新を踏まえて次年度にかけて協議を行ないました。



## ②ホームページ・オフィシャルブログの管理運営

ホームページについては、研修や事業の通知・募集はバナー化して掲示していく事で周知を図ることができました。

ブログ「滋賀県社会福祉士のひろば」については、研修事業・ブロック活動情報等を中心に迅速な当会の活動についての情報提供を行えるように役員・事務局・各委員会及びブロック担当者との連携を図りながらサイトの管理運営の充実を図りました。

## ③本会の紹介パンフレットの刷新や啓発グッズの作成

この項目については行っていません。次年度以降のソーシャルワーカーデーにおける広報や啓発グッズの作成等を検討しています。

## ④広報委員会の開催・委員の活動

湖南ブロック研修の機会をもって広報委員会を開催し、はーと・めーるの編集を行いました。あり方や紙面刷新を踏まえて次年度にかけて協議を行ないました。

## 4. 災害対策支援委員会の運営

「滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議」構成団体として、県内各福祉関係団体とともに大規模災害発生時、当会のネットワークや会員のエンパワメントを活かした活動を行うことを目的とします。また、災害時に活動できる福祉専門職養成研修など、近畿ブロック各府県士会と連携を深めました。

委員会活動は実施していませんが、近畿各府県士会と共同で認証研修を開催し、当県からも4名が受講、事務局としても参画しました。

### <災害支援活動者養成研修>

日時 2018年6月1日(金)～6月2日(土)

会場 大阪社会福祉指導センター、大阪府社会福祉会館

### <近畿ブロック災害担当者会議>

日時・会場 2018年8月26日(日)、大阪社会福祉士会事務局

日時・会場 2019年2月10日(日)、神戸女子大学

## 5. 地域単位の組織化

活動の一層の活性化を図るため、ブロック代表を中心に自主的な研修や交流を進め、福祉圏域を単位とするブロック活動の推進を行いました。

### ○大津ブロック

4月28日(土) テーマ：知的障害を持つ本人へのより良い支援を目指して

講師：小西 愛 氏

(おおつ福祉会多機能型事業所ふうね就労移行支援事業  
 कोरोレ支援員兼心理職)

場 所：浜大津明日都ふれあいプラザ小会議室

6月23日(土) テーマ：成年後見活動事例検討会

場 所：つじくら

### ○湖南ブロック

6月21日(木) テーマ：生涯学習制度について

講師：滋賀県社会福祉士会 磯崎 圭一郎 氏

場 所：草津市立サンサンホール

8月 2日(木) テーマ：無戸籍や罪を犯した人への支援を通して見えること

講師：滋賀県社会福祉士会 中川 英男 氏

場 所：草津市立サンサンホール

10月24日(木) テーマ：子ども食堂の未来について

講師：滋賀県社会福祉協議会 谷口 郁美 氏

場 所：草津市立サンサンホール

- 1月10日(木) テーマ:多角化する社会福祉協議会の役割について  
 講師:野洲市社会福祉協議会 水谷 威彦 氏  
 場所:草津市立サンサンホール
- 2月28日(木) テーマ:成年後見制度について(事例検討会)  
 講師:NPO法人成年後見センターもだま 竹村 直人 氏  
 場所:草津市立サンサンホール

○甲賀ブロック

- 4月19日(木) テーマ:成年後見制度利用促進基本計画について  
 講師:成年後見センターぱんじー所長 桐高 とよみ 氏  
 場所:甲賀市水口社会福祉センター2階会議室
- 5月17日(木) テーマ:平成30年度活動計画について  
 場所:甲賀市水口社会福祉センター2階会議室
- 7月19日(木) テーマ:子ども達が安心して過ごせる居場所づくり  
 ~適応指導教室の日々の取組から~  
 講師:甲賀市適応指導教室 村田 佳子 氏  
 場所:甲賀市水口社会福祉センター2階会議室
- 9月20日(木) テーマ:地域で共に学び・共に生きる  
 ~甲賀市夢の学習の取組から~  
 講師:特非)地域で創る土曜日夢の学習理事長 摺本 圭治 氏  
 場所:甲賀市水口社会福祉センター2階会議室
- 11月15日(木) テーマ:生きづらさを抱えた人に寄り添う  
 ~滋賀県社会福祉士会の取組から~  
 講師:滋賀県社会福祉士会 会長 中川 英男 氏  
 場所:甲賀市水口社会福祉センター2階会議室
- 1月17日(木) テーマ:ミニ研修会「滋賀県社会福祉士会の動向について」  
 ~滋賀県社会福祉士会の取組から~  
 場所:勝喜(新年会)
- 3月14日(木) テーマ:住み慣れた地域で安心して暮らすために  
 ①甲賀市内の福祉事業所をつなぐネットワーク  
 「ふくしまんパワーねっと こうか」について  
 ②これまでの相談業務を振り返って  
 ③甲賀ブロック30年度の振り返りと次年度に向けて  
 話題提供:磯崎 圭一郎 氏・引田 幸男 氏  
 場所:甲賀市水口社会福祉センター2階会議室

○東近江ブロック

- 2月24日(日) テーマ:「身元保証問題の現状と課題  
 ~先進地域の取組みに学びながら~」  
 講師:同朋大学社会福祉学部 専任講師 林 祐介 氏  
 場所:男女共同参画センター
- 3月19日(火) テーマ:「人生最終段階におけるケアマネジメント及び  
 リハビリ支援の取組み」  
 講師:ケアプランセンター加楽 主任介護支援専門員・社会福祉士  
 楠神 涉 氏  
 ワンモア訪問看護リハビリセンター 理学療法士  
 山本 圭介 氏  
 場所:男女共同参画センター

## ○湖東ブロック

5月24日(木) テーマ:「支援を必要とする人を排除しない地域へ」  
～福祉と司法の連携～

講師:滋賀県社会福祉士会 中川 英男 氏・柴田 有加里 氏  
場所:彦根勤労福祉会館

10月24日(木) テーマ:湖北ブロック合同情報交換交流会  
場所:創作ダイニング「えん」

## ○湖北ブロック

2月4日(木) テーマ:湖東ブロック合同研修会  
「つながり」で作るだれもが幸せ感じる社会  
～身近な私たちにできること～

講師:湖北子ども食堂「Liaison」代表 北居 理恵 氏  
場所:ウエルカム倉庫「ちこまち」

## 6. 基金の運営

これからも増大する滋賀県民の社会福祉に関するニーズに的確に応え、会の発展と将来に向けて、利便性の高い、情報管理等のセキュリティにも配慮した長期的活動の基盤機能を備えた社会福祉士会の事務所を確保する必要があるほか、成年後見活動において、困難事例についての組織的な対応により適切な後見活動が行えるような体制整備を検討する必要があることから、各会員が、会を通して受ける報酬、講師謝礼等からの寄付により設置している2つの基金の拡充に取り組みました。

### ①事務所整備基金

将来的な会員入退会管理や会費事務等に備えるとともに、新生涯研修制度や認定社会福祉士制度に対応する生涯研修センターの機能を持つなど事務管理、会議運営、研修体制すべてに対応するための機能を備えた事務所整備に取り組むため、資金準備の寄付金の募金活動を、本会20周年を契機として2012年度から開始し、目標額を400万円に設定し取り組んでいます。

基金残高 1,732,822 円(2019年3月31日現在)

### ②成年後見体制整備基金

ばあとなあ活動における報酬が付与されない事例に対する会員活動費の補填や法人後見実施のために、各会員の判断による寄付により創設する基金。主に、ばあとなあ活動報酬等を対象に各会員からの寄付申し出により積み立てました。なお、遺贈による寄付金については寄付金使途検討委員会の協議を経て、理事会議決により指定を解除し、平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の支援金・義援金として寄付しました。

基金残高 5,315,812 円(2019年3月31日現在)

## 7. 事務局の充実

公益社団法人移行に伴い、適正かつ透明な事務局運営を目指して取り組みを進めます。

### ①事務局通信の発行

定期発送に合わせ、毎月発行を行いました。

### ②公益社団法人に対応した事務処理体制の確立

滋賀県総務部総務課の指導も受けながら、公益法人の基準に則った運営に努めました。

### ③諸規定の改正と規程集の発行

必要な諸規定の改正は随時行ったが規程集の発行には至っていません。

## 8. 公益社団法人日本社会福祉士会との連携事項

### ①総会への参画

通常総会 2018年6月16日(土) 鉄鋼会館  
中川会長出席

### ②各種委員会活動への参画

- ア 都道府県会長会議 2018年9月1日(土)～2日(日)  
中川会長出席
- イ 都道府県ばあとなあ連絡協議会 2018年5月26日(土)～27日(日)  
村田運営委員長、町野運営委員出席
- ウ 全国生涯研修委員研修会議 2018年9月22日(土)～23日(日・祝)  
木村理事、磯崎会員出席
- エ 組織委員会 2018年7月28日(土)・11月25日(日)・1月12日(土)  
中川会長出席

### ③中央研修等への会員派遣

- ア 養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修講師予定者研修  
2018年7月21日(土)～22日(日) 長橋会員
- イ 第7期虐待対応専門研修～アドバイザーコース～  
2018年9月8日(土)～9日(日)・12月1日(土)～2日(日)  
町野会員、濱上会員
- ウ 未成年後見人養成研修  
2018年11月10日(土)～11日(日)  
大原理事、中尾会員、中川会員、井関会員
- エ 意思決定支援セミナー  
2018年12月7日(土)～8日(日) 磯崎会員

## 9. 総会・理事会の開催

### (1) 総会の開催

#### ①6月9日(土)

出席者：284名(出席44名・委任状23名・書面表決者217名)  
報告事項 2017年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業報告について  
第1号議案 2017年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会決算の承認について  
報告事項 寄付金の使途検討委員会協議経過について  
連絡事項 2018年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会行事予定について  
研修会 ～こどもの権利を守るために～ こどもの里の実践から、わたしたち大人の視  
点を考える  
講師 NPO法人こどもの里職員 植月 智子 氏

#### ②3月23日(土)

出席者：284名(出席50名・委任状223名・書面表決者273名)  
報告事項(1) 2018年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業計画について  
報告事項(2) 2018年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会予算について  
報告事項(3) 遺贈による寄付金の使途について  
連絡事項(1) 2019年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会行事予定について  
研修会「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例について」  
講師 滋賀県健康医療福祉部障害福祉課共生推進係 係長 清水 潤 氏

## (2) 理事会の開催

### ① 4月25日(水)

第1号議案 定期総会について

第2号議案 2018年度第1次補正予算(案)について

協議事項

- (1) 委員の推薦について
- (2) 基礎研修の開催について
- (3) 日本社会福祉士会生涯研修委員について
- (4) 会費未納会員への対応について
- (5) 受験対策講座について
- (6) ソーシャルワーカーデイについて

### ② 5月16日(水)

第1号議案 2017年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業報告(案)について

第2号議案 2017年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会決算(案)について

監査報告

第3号議案 定期総会・研修会の開催について

第4号議案 権利擁護センターぱあとなあ滋賀名簿登録規程について

第5号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 委員の推薦について
- (2) 基礎研修受講者へのアンケート調査について
- (3) 養護者による高齢者虐待対応現任者標準研修講師予定者研修について

### ③ 6月27日(水)

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 近畿ブロック兵庫大会分科会について
- (2) 滋賀県運営適正化委員会委員の推薦について
- (3) 大津市子ども養育支援ネットワーク連絡会参加者の推薦について
- (4) 日本社会福祉士会主催研修会について
- (5) 滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修 相談窓口職員向け研修講師について
- (6) ユニバーサルデザインの取組の推進に関する会議について
- (7) 福祉介護従事者のための「研修講師派遣」事業について
- (8) 日本介護福祉士会「近畿ブロック研修会」後援依頼について
- (9) 事務局体制の整備について

### ④ 7月25日(水)

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 彦根市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会委員の推薦について
- (2) 平成30年度「医療福祉・在宅見取りの地域創造会議」総会について
- (3) 第3回滋賀県多職種連携学会研究大会の開催について
- (4) 平成30年7月豪雨について
- (5) 事務局体制の整備について

⑤ 8月22日（水）

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 県立リハビリテーションセンター教育研修事業推進部会委員の推薦について
- (2) 第4回認知症にかかる医療と介護の滋賀県大会後援名義使用承諾について
- (3) eラーニング事業の負担金にかかる意向確認調査について
- (4) 三団体合同研修会について
- (5) 大口寄付金の使途について

⑥ 9月26日（水）

報告事項 会長及び副会長の職務執行状況報告について

協議事項

- (1) 事務委託の解除に関する報告について
- (2) 「認知症あったかフォーラム2018秋」における後援名義承諾について
- (3) 上半期業務報告書の作成について
- (4) コピー機リース契約満了による新規リース契約について
- (5) 基礎研修Ⅰ事前課題への協力について
- (6) 遺贈による寄付金の使途について

⑦ 10月24日（水）

第1号後案 2018年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会第二次補正予算（案）について

第2号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 事務委託の解除について
- (2) 介護認定審査会委員の推薦について
- (3) メンター育成支援員の推薦について
- (4) 高次脳機能障害リハビリテーション講習会における後援名義使用について
- (5) 滋賀の縁創造実践センター継承にかかる説明会について
- (6) 成年後見制度利用促進にかかる関係機関との意見交換会について
- (7) 2020年度予算・制度に関する提案及び第三期中期計画への意見について

⑧ 11月28日（水）

第1号後案 2018年度上半期事業報告について

協議事項

- (1) 研修会参加にかかる費用負担について
- (2) メンター育成支援員の推薦について
- (3) 寄付金の使途について
- (4) ぱあとなあ滋賀苦情対応について

⑨ 12月26日（水）

協議事項

- (1) 日本社会福祉士会理事候補者の選出について
- (2) 2019年度事業計画・予算について
- (3) 2019年度基礎研修の日程について

- (4) 臨時総会・通常総会の日程について
- (5) 新会員管理システム管理責任者の選任について

⑩ 1月23日（水）

第1号議案 入会者の承認について

協議事項

- (1) 臨時総会について
- (2) 2019年度基礎研修について
- (3) 生活困窮者支援委員会アンケートの実施について
- (4) 事務局職員の待遇改善について（時給及び退職金について）
- (5) メンター育成支援員の推薦について

⑪ 2月27日（水）

第1号議案 2019年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会事業計画案について

第2号議案 2019年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会予算案について

第3号議案 遺贈による寄付金の使途報告について

第4号議案 臨時総会の開催について

協議事項

- (1) 2019年度公益社団法人滋賀県社会福祉士会年間行事予定について
- (2) 委員の推薦について
- (3) 後援名義の使用について
- (4) 産業ソーシャルワーカーよりの広報依頼について
- (5) 2019年度介護支援専門員研修講師について

⑫ 3月27日（水）

協議事項

- (1) 定期総会について
- (2) 事業報告書の作成について
- (3) 来年度の基礎研修について
- (4) ぱあとなあ滋賀次年度体制について
- (5) 後援依頼について
- (6) 成年後見センターもだまよりの理事就任依頼について
- (7) 事務局職員の時給アップについて
- (8) 事務局職員（正規）の退職金の創設について
- (9) 事務局職員の就業規則について